

D 5 1 に関する経過表

1. 「D 5 1 2 2 2」のおいたち

昭和13年12月19日	小倉工場で完成
昭和13年12月30日	大里機関区(後の門司機関区)に配属 鹿児島本線(門司-熊本間)で運転 日豊本線で運転
昭和16年 5月 4日	直方機関区に転属(筑豊線で石炭運搬)
昭和18年11月27日	熊本機関区に転属(鹿児島本線で運転)
昭和46年 5月14日	南延岡区に転属(日豊本線で運転)
昭和47年11月	退役
昭和48年 2月14日	鹿児島国鉄管理局から那覇市へ無償貸与 ※走行距離 2,876,479km(約地球71周)

2. 「D 5 1 2 2 2」が那覇市に来ることになった経緯等

昭和47年	北九州市内の国鉄職員有志が、沖縄の日本復帰・鉄道開通100周年記念に合わせて、沖縄の子どもたちを招待する「百人里親運動」を展開(※船賃含め費用は里親持ち 1人約1万円)
昭和47年7月27日 ～ 8月4日	市内小学校(5・6年)72名が北九州市訪問 ※SLを見学した子どもたちから「沖縄の友達にも見せたい」「SLが欲しい」等の声上がる。
昭和47	門司鉄道管理局を中心に「沖縄にSLを送る運動」を展開し、全国鉄職員に募金呼びかけ
昭和48年 2月14日	鹿児島国鉄管理局から那覇市へ無償貸与
昭和48年 3月8日	与儀公園にて譲渡式
昭和49～59年	国鉄職員による整備、D51由来碑設置、フェンス張り、塗装整備
平成 4年 8月 5日	那覇市へ無償譲渡
現在に至る	